

令和5年 9月定例会 市長提案説明

9月定例会の開催に当たりまして、所信の一端を申し上げますとともに、今議会に提案いたしました、議案の概要につきまして、ご説明申し上げます。

はじめに令和5年6月2日に発生した大雨で被災された市民の皆様にご心からお見舞い申し上げますとともに、困難な状況に置かれた皆さんの不安に寄り添い、引き続き市として全力でご支援してまいりたいと考えています。

また、被害にあった公共施設の復旧に向け、市民の皆様、市内の企業の方々、全国の皆様からたくさんのご寄附をいただき誠に感謝しております。この場をお借りし、御礼を申し上げます。

今回の災害により、大きな影響を受けた農作物や農業協同施設については、災害発生直後から、農林水産省が所管する、災害時のサポート・アドバイス・チームである「MAFF-SAT」に、本市の被災状況を確認していただきました。

また、6月20日には、東海農政局と愛知県へ、翌21日には農林水産省へ伺い、被災者の生活と生業の再建に向けた対策をはじめとする財政措置などの総合的な災害復旧支援の緊急要望を行っております。

8月25日には、国が令和5年5月28日から7月20日までの間の豪雨及び暴風雨による災害を激甚災害として指定することを閣議決定しました。

これにより、本市においても6月2日の大雨が、災害復旧に係る補助率の^{かさあげ}嵩上げなどの適用対象の災害に指定されました。

農地と農業用施設については、国の災害復旧の採択に向け、現地測量や工事設計等を行っており、国と県と連携を密にして、復旧に向け取り組んでいる状況であります。

道路、橋りょう、河川、林道の復旧の進捗状況については、概ね応急復旧は完了しております。一部、完成していない被災箇所につきましても、引き続き早期の復旧を目指してまいります。

乙川河川緑地については、被災直後から園路等に堆積した土砂や流木の除去や清掃を行い、順次開放しております。

なお、殿橋から愛知環状鉄道までの区間につきましては、現在も河川敷広場の削られた箇所に土を入れ整地を行っており10月までに完了する見込みであります。

スポーツ施設は、乙川テニスコート及びローラースポーツ場、渡橋河川敷右岸グラウンド及び渡橋河川敷左岸ゲートボール場は、一部仮設の状態ではあるものの、利用を再開しております。

その他の施設ですが、倒木や園路崩壊のあった、みつわ広場、わんパークにつきましては、二次被害を防止するためにも、早急に復旧しており、今後も、来場者の安全の確保に努めてまいります。

他方、7月27日に開催された「第51回消防救助技術東海地区指導会」において、陸上の部「引揚救助」で本市の消防本部救助隊員が優勝し、8月25日に北海道で開催された「第51回全国消防救助技術大会」に出場してまいりました。

また、常磐消防団が8月5日に新城市で開催された「第68回愛知県消防操法大会」において、小型ポンプの部で準優勝するなど、日々、消防力、防災力の向上に努めていただいておりますこと、感謝申し上げます。

昨日、国から本市の児童発達支援センター給食搬入特区について、構造改革特別区域計画の認定を受けることが発表されました。本認定により、給食の施設内調理が設置要件であった児童発達支援センターにおいて、給食の外部搬入が可能となることで、早期に療育を受けるニーズへの受け皿である児童発達支援センターの増加につながることを期待されます。

また、小規模な施設内調理と比較し、給食調理業務の効率化・安定化、管理面の負担軽減、人的資源の療育事業への注力が可能となり、きめ細やかな療育を提供することが大いに期待されるものです。今後も、身近な地域における配慮が必要な児童やその家族への総合的な支援体制の充実に向けて、積極的に取り組んでまいります。

次に、岡崎アスリートである三菱自動車岡崎が、第 94 回都市対抗野球大会で 2 勝を挙げ、20 年ぶりのベスト 8 進出という大変輝かしい結果を残しました。私も 2 試合、応援してまいりました。一戦必勝で試合に臨んだ選手の皆様のひたむきな姿は、多くの市民の皆様感動を与えてくれました。

そして、本市出身のアスリートが世界で活躍しています。男子バレーの石川^{ゆうき}祐希選手は、ネーションズリーグで初の銅メダル獲得に貢献し、女子バレーの石川^{まゆ}真佑選手も同大会に主力として出場するなど、今後の活躍が期待されます。また、次の世代では、本市出身の中京大学附属中京高等学校3年^{はやしみき}林美希選手が、韓国で開催された U 2 0 ^{アンダーにじゅう}アジア陸上競技選手権大会において 100m ハードルで優勝されました。将来必ず日本を代表するアスリートになると確信しております。今後も、スポーツで岡崎が元気になるように、岡崎アスリートを市民の皆様と一緒に応援してまいります。

つづいて、新型コロナウイルス感染症対策についてであります。

季節性インフルエンザと同様の 5 類感染症に移行し、間もなく、4 か月になります。感染状況の把握も変更され、週 1 回の定点医療機関から患者数の届出によるものになり、本市では 11 か所の医療機関からの報告を受けています。

最近の新型コロナの発生状況は、8 月 14 日から 20 日までの本市の 1 医療機関当たりの患者数は 9.18 人となっており、先週、先々週からやや減少しています。しかしながら、愛知県内の平均 25.69 人は、全国平均の 17.84 人を大きく上回っており、この地域の感染が落ち着いているとは、言い難い状況にあります。

今年は、コロナ発生以降の行動制限がない初めての夏を迎え、様々なイベントも行われ、まちに活気が戻ってきていることを感じる一方、今後の感染拡大も懸念されます。

現在、感染防止対策については、各自の判断に委ねられることが基本となり、様々な場面でコロナ前の日常に戻ってきていますが、新型コロナウイルスは 5 類移行後も依然として「強い感染力」を有しております。引き続き、感染状況や感染リスクに応じた感染防止対策に御協力をいただきますようお願いいたします。

新型コロナワクチン接種につきましては、9月20日から令和5年秋開始接種として、現在の流行主流株であるオミクロン株 XBB 系統に対応したワクチンによる追加接種が開始されます。

接種は、初回接種を完了した生後6か月以上のかたで、前回接種から3か月以上経過しているすべてのかたが対象です。

対象者のかたには、9月12日から10月にかけて、接種可能となる時期に合わせて順次、接種券を送付してまいります。

なお、岡崎市が開設する会場では岡崎市医師会や岡崎薬剤師会などの協力のもと9月20日から接種を開始します。

新型コロナウイルス感染症は、毎年、年末年始に感染拡大が起きています。重症化予防の観点から、ワクチン接種を希望されるかたは早めの接種をお願いいたします。

このほか任意の予防接種では、各方面からご要望をいただいております。帯状疱疹^{たいじょうほうしんよぼうせつしゅ}予防接種につきましても、今年度から50歳以上を対象とし接種費用の一部助成事業を実施しております。また、間もなく中学3年生・高校3年生相当を対象にしたインフルエンザ予防接種費用の補助を行ってまいります。

また、物価高騰等により家計が苦しい中でも児童・生徒が豊かな教育を育むことができるよう、小学1年生から中学3年生までの児童・生徒に対し、1人あたり5千円の図書カードを支給いたしました。子どもたちの好きな本や学用品の購入にお役立ていただきたいと思います。

本市は、新型コロナウイルス感染症と物価高から市民生活を全力で守り続けてまいります。

次に現在進めている都市づくりについてです。

岡崎駅東土地区画整理事業の都市計画道路柱町線につきましては、令和6年度春の開通を予定しておりましたが、用地取得の遅れ及び入札の不調に伴い、令和6年度秋の開通を目指してまいります。

開通を心待ちにしてみえる市民の方々には、ご迷惑をおかけいたしますが、今しばらくお待ちいただきますよう、よろしくお願いいたします。

阿知和地区工業団地造成事業については、PFI事業者による、工事の無事を祈願する起工式が9月26日に予定されており、いよいよ新たな工業団地の整備が本格化してまいります。令和8年度末の造成工事の完了に向けて、着実に事業を推進してまいります。

また近接するおかざき農遊館、農業支援センターについて、周辺一帯を「おかざきの食と農の生産・交流・PR拠点エリア(食＝農＝アグリパーク構想)」として、地域と共に、にぎわいが創出できるよう、地元の声を聴きながら検討を進めてまいります。

東岡崎駅周辺整備につきましては、南北自由通路及び橋上^{きょうじょうえきしゃ}駅舎などを整備する工事の委託契約議案を先の6月定例会でご議決いただいたところでありまして、いよいよ東岡崎駅の第2期整備が始まります。

第2期整備では、新駅ビルやバスターミナルなどを整備する市街地再開発事業も一体で進めていく予定としておりまして、8月25日に、事業^{せこう}施行の認可を行なったところであります。

今後、工事の進捗に伴い、様々な御不便をおかけすることになりますが、駅利用者や市民の皆様の安全をしっかりと守りながら、令和10年度の橋上^{きょうじょうえきしゃ}駅舎の完成、令和11年度の新駅ビルの完成に向け、鋭意取り組んでまいります。

スポーツ関連についてです。

9月23日から、アジア最大のスポーツの祭典である第19回アジア競技大会が、中国・杭州市で開催されます。この大会は、アジアのトップ選手が集い、オリンピックで実施される競技に加え、カバディやセパタクローなどのアジア特有の競技が実施されることも大きな特徴です。

この大会が終われば、いよいよ2026年の第20回愛知・名古屋アジア競技大会の機運が高まってまいります。

本市では、今のところ、バレーボールが中央総合公園総合体育館で、アーチェリーが中央総合公園多目的広場で実施される予定となっております。そして、野球の会場がもう間もなく大会組織委員会の理事会にて決まりますが、中央総合公園の岡崎レッドダイヤモンドスタジアムが会場となることを期待しているところであります。アジア最高峰の競技を目の前で見ることができるまたとない機会です。今後も、愛知県や関係団体などと協力し、施設の改修や受け入れ態勢の構築など必要な準備を進めてまいります。施設改修の期間には、大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック大会の際、モンゴル国のホストタウンとなり、アーチェリー代表チームの事前キャンプを2019年に実施したことをきっかけに始まったモンゴル国アーチェリーチームの合宿を、昨年に引き続き8月18日から23日まで受け入れいたしました。今年も、モンゴル国のアーチェリーユースチームのメンバーにお越しいただき、アーチェリーフェスティバルへの参加や、愛知産業大学との合同練習を行いました。今後とも、2026年のアジア大会に向けて、アーチェリーを介したスポーツ交流を進めてまいります。

本定例会には、令和4年度の一般会計、特別会計及び企業会計の決算認定議案を、監査委員の意見を付けて提出しておりますので、その概要を説明いたします。

一般会計の決算の概要でございます。

一般会計の決算規模は、歳入は1,523億3,812万円、歳出は1,429億8,292万円で、歳入、歳出ともに、過去2番目の規模となりました。

純剰余金につきましては、約72億円の黒字となり、貯金である、財政調整基金の令和4年度末の残高は、約121億円となりました。自然災害などの突発的な財政需要などに備えるため、引き続き財政調整基金の残高は100億円を維持していきたいと思っております。

歳入は、歳入全体の46%を占める市税は、固定資産税などの増により、市税全体で、前年度と比べ約17億円増収となる、約706億円となりました。

歳出は、福祉分野の支出となる民生費が全体の37%を占める約535億円と最も多く、次いで衛生費、総務費、土木費、教育費の順となりました。

次に特別会計でございます。

12会計の総計では、歳入は約678億円、歳出は約657億円で、歳入歳出差引額から繰越事業への充当財源を引いた純剰余金は、約11億円となりました。

最後に企業会計でございます。

病院事業会計は、入院患者数は前年度と比較して減少したものの、外来患者数は前年度と比較し増加しました。

決算状況は、収益において、入院、外来収益がともに増加したほか、新型コロナウイルス感染症関連の補助金の交付などがあり、前年度と比べ、約4億円の増となる、約29億円の純利益となりました。

水道事業会計は、給水戸数は前年度と比較して増加したものの、給水人口は前年度と比較して減少しており、普及率は99.9%で前年度と同率となりました。

決算状況は、収益において、修繕引当金の戻入に係る特別利益の計上がなかったことによる減などにより、前年度と比べ、約16億円の減となる約8億円の純利益となりました。

下水道事業会計は、下水道への接続戸数、接続人口ともに前年度と比較して増加しており、普及率は89.3%で前年度と比べ、0.1ポイントの増加となりました。

決算状況は、収益では、修繕引当金の戻入に係る特別利益の計上がなかったことなどによる減、費用においては、減価償却費の増加などにより、前年度と比べ、約3億円の減となる約3億円の純利益となりました。

以上が令和4年度決算の概要でございます。

令和4年度は、「コロナ禍を乗り越え 一歩先の暮らしを見据えた魅力あるまちづくりを進める予算」と位置付け、ワクチン接種などの新型コロナウイルス感染症対策のほか、福祉や子育て支援などの施策の充実に加え、

防犯・防災、環境、コミュニティ、教育など市民生活を支える基本施策の充実を図りつつ、暮らしと健康を守りながら、持続可能なまちづくりを推進してまいりました。

また、大河ドラマの放送により、全国から岡崎への注目が集まっております。この好機を生かし、「家康公は岡崎生まれだ」とアピールするなど、本市の知名度と魅力向上を引き続き発信してまいります。

今後におきましては、新型コロナウイルス感染症は5類に移行しましたが、物価高騰に加え、近年の異常気象なども加わり、先行きが不透明であることから、社会経済情勢の変化などに留意しつつ、財政調整基金の残高確保に努めることや、市債残高に注視しながら、中長期的な財政収支の見通しを持って、安定的な財政運営の取り組みを推進してまいります。

次に、本議会に提案をいたしております議案について、説明をさせていただきます。

まず、条例議案といたしましては、淡淵町のわんパークについて、その利用時間を延長するとともに、施設内に新設するワークスペースの利用について必要な事項を定める「岡崎市わんパーク条例の一部改正」など、6件を提案させていただいております。

その他議案といたしましては、(仮称)市営・大樹寺住宅の新築に係る工事並びに甲山中学校南棟及び大樹寺小学校中棟の大規模改修工事に関する「工事請負の契約」など6件を提案させていただいております。

続きまして、補正予算議案であります。一般会計の補正は、3億6,460万2千円の増額、特別会計は7億2,114万6千円の増額、企業会計は、債務負担行為のみのため金額の増減はございません。

総務費では、国土交通省の共創モデル実証プロジェクトの採択を受け、自動運行バスの実証運行を実施するための政策企画推進支援委託料の計上、おかざき乙川リバーフロント交流拠点整備事業用地の効果的な暫定活用を進めるため、早期に旧教育文化館等の施設の解体を行うための工事請負費の計上。

民生費では、障がい者のタクシー利用実績が増加したことに伴うタクシー料金助成費の増額、今年度から利便性向上のため、タクシー助成利用券の交付を自動車税減免制度との併給や郵送交付に変更したことで、利用実績が増加しており、より多くの障がいのあるかたへの外出機会の確保、社会参加の促進が図られていると認識しております。

衛生費では、アピアランスケア用品の購入費補助金の交付申請件数が見込みを上回るための増額、がんの治療に起因する脱毛や乳房切除による外見変化を補うために購入した医療用ウィッグ・乳房補整具の費用を一部負担するもので、県の補助制度になる前から、単独市費の補助業務として取り組んでまいりましたが、購入補助金の実績が増えていることは、対象となるかたへの周知がされてきているものと理解しております。

農林業費は、物価高騰などの影響を受けている農業者支援及び消費下支え等を通じた生活者支援を実施するため、おかざき農業応援チケットを全市民へ配布する「おかざき農業応援プロジェクト推進事業負担金」の計上。

商工費は、10月28日開催予定の家康行列を安全・快適に実施するため、沿道の混雑抑制と来場者分散を目的としたサテライト会場を複数設置するための委託料の増額。

土木費では、申請件数が見込みを上回ったこと及び補助対象年齢を拡大するため、自転車用ヘルメット購入費補助金の増額、当初は、自転車乗車中の負傷者の多い7歳から18歳の児童・生徒等と65歳以上の高齢者を対象とした補助事業でしたが市民の皆様の交通安全への意識の高さから6月末時点で想定件数へ到達しました。また、補助対象でない年齢のかたからも多くの問合せ、要望などがあることから市民の命を守るため、迅速に補助対象の年齢を全年齢へと拡大してまいります。

消防費は、河川氾濫被害地区の強化を図るため、カメラ及び危機管理型水位計を設置するためなどの総合防災システム保守委託料の増額。

教育費は、11月に開催するWRCの競技コースなどの決定に伴い、警備体制強化やシャトルバスの運行台数の増加などによる負担金の増額、物価高騰等による児童・生徒を養育する保護者の経済的支援を図るため、物価高騰対策給付金の計上。

次に、特別会計であります。

後期高齢者医療特別会計は、過年度分の精算に伴う広域連合への保険料等負担金の計上、介護保険特別会計は、決算剰余金を介護給付費・準備基金へ積み立てるための補正や介護給付費の精算に伴う返還金の計上をお願いしております。

最後に、企業会計であります。

病院事業会計では、院内保育所運営に要する経費について、債務負担行為を提出するものでございます。

以上が、今議会に提案をいたしました議案の大要であります。

7月1日から9月末まで実施しております「クールシェアおかざき2023」ですが、公共施設15施設をクールシェアスポットとして市民の皆さまにご利用いただいております。そのうちの1か所、岡崎公園内に設置しましたクールシェルターに関しましては、市民のかただけではなく、観光のため岡崎公園、大河ドラマ館に来られたかたにもご利用いただいております。

私自身も初日の7月1日に、行われたワークショップを見ながら、実際にクーリングシェルターを体感してきましたが、地元岡崎の木材が一面に施された室内は、涼しさを感じられるだけでなく、リラックスすることもでき、猛暑日が続いた今年の夏、設置目的のひとつである熱中症予防に一役買うことができたのではないかと思います。

名鉄バス高齢者向けフリーパスの購入費用の補助については、今年度は補助額を県内最大の1月あたり1,500円まで増額して、7月から実施しております。より多くのかたに利用していただきたいと考えております。乗り放題となる高齢者パスを活用して、りぶらや高年者センターなどのクールシェアスポットを始め、各地へお出掛けいただければと思います。

8月14日に本市はこども家庭庁が掲げる、「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、その取組みを応援する「こどもまんなか応援サポーター」となることを宣言しました。

本市ではこれまでも「おかざきっ子 育ちプラン」により、子育て環境の整備を図ってまいりましたが、この宣言により、市として「こどもまんなか」に取り組む姿勢を示し、今後も、こどもの幸せを第一に考え、こどもと子育て家庭を支援する環境づくりを充実させてまいります。

次に「岡崎版図柄入りナンバープレート」についてですが、昨年度から幸田町と共同で進めており、いよいよ10月23日から交付が開始されます。図柄は、家康公の兜の変遷を表したデザインで、終盤に向けてますます盛り上がる大河ドラマとともに、岡崎の魅力を広く、また継続的に発信していけるものと考えております。

8月5日に開催しました花火大会は、混雑緩和や豪雨対策等を強化した新しい花火大会として2回目となった今年も、近隣住民の皆様を始め多くの皆様のご支援とご協力により、20万人の観覧者をお迎えするなかで、事故や混乱、火事や救急もなく、またゴミも大変少なく、開催することができました。

テレビ愛知開局40周年企画として放送された花火の生中継においても、世帯視聴率9.0%、個人全体視聴率5.1%と、同時帯在名視聴率1位という高視聴率を獲得するなど、およそ100万人のかたに、テレビを通じても岡崎の花火大会の魅力を発信することができました。

また、花火大会翌日には、早朝より近隣住民の皆様を始め、地元企業やボランティア団体、そして、地元中学生の皆さんによって会場周辺の清掃をしていただきました。あらためて、感謝とお礼を申し上げます。

また、花火大会翌週は、籠田公園一帯におきまして、岡崎城下家康公夏まつりとQURUWA夏まつりが合同開催され、市民の手作りによる岡崎の新名物「えびすくい音頭」が、満を持して、華々しいお披露目となりました。市民による大河ドラマのレガシー誕生を大変嬉しく思っております。

さて、囲碁の七大タイトル戦の一つ「天元戦」が10月10日に岡崎市で開催されることが決まりました。

家康公と関わりの深い囲碁の公式戦が、大河ドラマで盛り上がる今年、家康公生誕の地で開催されることは、大変誉れ高いことでもあります。

「どうする家康 岡崎 大河ドラマ館」は、8月29日に来館者35万人を突破いたしました。市民割第2弾、愛知県内の小中学生の入館料無料化を始め、様々な連携企画や夏企画の効果もあり、多くの家族連れにご来館いただきました。

大河ドラマの放送終了まで残り3か月半、大河ドラマ館の閉館まで残り4か月強となりました。この期間に、より多くのかたが家康公生誕の地であるこの岡崎にお越しいただけるよう、ドラマ館を核としたプロモーションを強力に推し進めてまいります。

11月4日、5日は、乙川河川緑地で「岡崎城下家康公秋まつり2023商工フェア」を開催いたします。今回は、「岡崎地域店舗ファンづくり推進事業」家康印に登録された店舗を中心に、大河ドラマ「どうする家康」に関連した商品の販売やステージイベントを予定しておりますので、多くの皆様にお楽しみいただき、岡崎の伝統ある特産物、土産物を全国へ知っていただけるように準備を進めてまいります。

また、同日に開催する秋の食の一大イベント農林業祭の初日11月4日に「どうする^{ナベ}ー^{ワン} 岡崎城グランプリ」と称し、「一万人鍋」を開催いたします。この一万人鍋は、職業、年齢、地域を問わずチームを公募し、大きな釜で調理する自慢の鍋を市民や観光客に競って振舞うB1グランプリと同じ形式で実施し、決勝ラウンドは年明け1月8日を予定しております。

食材は、地元の農林水産物、有機農産物、小学生が育てる法性寺ネギなどに加え、岡崎おうはん、竹千代ポーク、八丁味噌など様々な食材を使用し、チームの特色を活かした鍋を市民や観光客に食していただきます。

多くのかたが農に触れ、食を考えるきっかけとなり、農の持つ魅力を放ち続ける象徴的なものとして、その魅力を体験しながら一万人鍋を楽しんでいただきたいと思います。

次に市民の健康と都市の発展を支えてきた本市下水道事業は、今年度、事業着手から100周年を迎えました。その記念すべき節目となる年に、日本最大のマンホール蓋のビッグイベントであるマンホールサミットを、中部地方で初めて、本市で開催いたします。

10月21日と22日の2日間にわたり開催するサミットでは、家康公の合戦の布陣を再現したマンホール蓋の展示や、愛知県内のマンホール蓋を集めた展示など過去最大規模のマンホール展示を行うとともに、マンホーラーによるリレートークや100周年記念マンホールをデザインした新マンホールカードの配布、また、普段は地中にあるマンホール本体の地上展示や下水道工事現場のVR体験など、下水道を見て、触れて、楽しんでいただける企画を用意し、普段は目に見えない下水道を知ってもらう絶好の機会として、市民をはじめ、全国から訪れるたくさんの来場者をお迎えするための準備に万全を期してまいります。

また、サミット前日の10月20日には、下水道事業100周年記念式を挙行し、式では、本市下水道100年の歴史を振り返るとともに、親善都市やゆかりのまちとのデザインマンホール蓋の交換式や、全国から総数404作品もの応募があった中から選ばれた、マンホール蓋新デザイン受賞作品の発表などを行ってまいります。

3日間をとおして、下水道事業100周年のキャッチコピーでもある「もっとつたえたい 下水道のちからを」を体現すべく、取り組んでまいります。

つづいて、WRC世界ラリー選手権 フォーラムエイト・ラリージャパン^{にせんにじゅうさん}2023が、昨年に引き続き、愛知県・岐阜県を会場とし、開催されます。昨年は、12年ぶりに日本で開催されたラリー最高峰の大会ということで、日本全国から多くのファンが集まり、盛大に開催されました。

今年は、「エンジョイ！ラリージャパン」を合言葉に、ラリーファンの皆様、参加するチームの皆様、そして開催地の皆様とともに、ラリーの魅力を存分に楽しめる、環境にやさしい大会を目指し、11月16日から19日までの日程で開催されます。

本市では、11月18日土曜日に、中央総合公園と額田地区を会場に開催いたします。まずは、開催地及び一般のチケット抽選販売が行われ、額田SSでは予定した枚数以上の申し込みをいただいております。

現在は、一般チケットの先着順による販売が行われている段階ではありますが、市内外から1万人を超える、多くのラリーファンの皆様をご来場いただけるものと考えております。

ラリーの迫力を間近で感じられ、多くの皆様に安全かつ楽しみながら観戦いただき、ラリーを通じて本市のスポーツ機運の醸成、地域の活性化、経済の振興を目指し鋭意準備を進めてまいります。

最後に、お待たせしておりました家康行列は、10月28日土曜日に開催いたします。今回は、大河ドラマ「どうする家康」で本多忠勝役の山田裕貴(やまだゆうき)さん、榊原康政役の杉野遥亮(すぎのようすけ)さん、井伊直政役の板垣李光人(いたがきりひと)さん、お市 役の北川景子(きたがわけいこ)さんが、行列の最後を華やかに演出してくださいます。沿道での観覧は抽選となりますが、NHKさんのライブ配信も予定されておりますので、多くの皆様にお楽しみいただき、伝統ある岡崎の家康行列を全国へ知っていただく絶好の機会として、万全の準備をしております。

以上、ご説明を申し上げますとともに、提出をいたしております、諸議案につきまして、よろしくご審議の上、ご議決を賜りますようお願い申し上げます、説明を終えさせていただきます。ありがとうございました。